

キーワードは「主体的」！ 研究だより



互見授業

グループB

発行者 倉田 隆

考えさせたいことから逆算して
学習課題を設ける

学習課題

誰かがやらなければいけないこと
を、進んでするにはどうしたらいいか

河原先生の 道徳



日時：7月20日（月）6限 2-3道徳 題材：『カラカラカラ』

授業の流れ：

(1) 導入

やらなければいけないけど、やらなかったな～みたいなことってどんなこと？

洗濯物かたづける

宿題をやらずにあーって思って授業5分前くらいにやる

(2) 今日の学習課題の提示

導入は「自分が」やらなければいけないことだったけど、今日のテーマは…

【誰かが】をかくして本題の学習課題へ

「誰かがやらなければいけないことをすすんで、にはどうしたらよいか」

(誰かがの部分…自主的、積極的などが出て、「誰かが」の部分はこちらで示しました)

(3) 「カラカラカラ」読む

(4) 登場人物とどんなことをしたり思ったりしている人かを確認

(5) 本題へ…

「どうして達也はできなかったのか…」

①から②へのスケールの中で自分の気持ちに近いものを選ぶ

理由も書く & 交流

河原先生の朗読



(6)自分ごとへ

「伸一がいなければできた？」
「勇気をもつまでこの人にはできない？」
からの～
「あなたならどうする？」

(7)学習課題に対する自分の答えを持つ

(8)時間切れ 本当なら振り返りするはずでした！



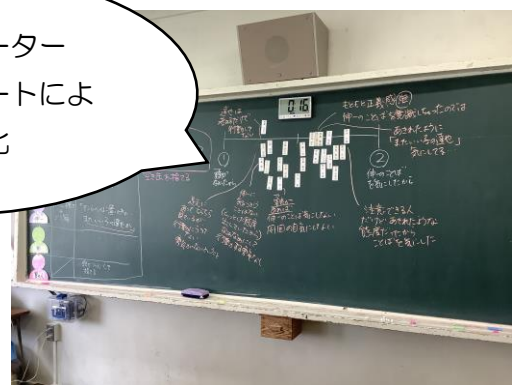
参観者の付箋より

- ☆読み物題材では、ストーリーがつかめなくて、ついていけない生徒が出やすいが、朗読の後、丁寧に内容をふり返っていたし、キーポイントを押さえたふり返りになっていた。
- ☆導入での共感は、ずいぶん声があがっていたので成功
- ☆感情バロメーター？を用いて、個々の考えを視覚的に共有できてよい。しかも、理由を引き出して板書することで、考えの違いを把握しやすくなっていた。
- ☆本題材を自分事として考えさせる授業展開、ワークシートの内容だった。
- ☆話し合いによって他者の考えを共有できた。
- ☆他者の意見をみるのに、号車で動かしているのがいい。⇒動きがあっていいね。
- ★「強い達也」になる意見が多かったように思うが、「認め合い、励まし合う仲」になる意見も引き出せると良かった。
- ★道徳的判断力（プリントには正しい判断が書ける）
↓
道徳的実践力（行動はできない）
に結びつくようにするには、どうしたらいいでしょうかね～。
例えば、廊下に落ちているゴミをすんなり拾える生徒が増えればいいのですが。
- ★拾わないという選択肢があってもいいと思います。
⇒なぜ拾わないのか。友達が見てるからとか…。そこから深まるのかなあ…。

（自分の課題でもあります）



感情バロメーター
& ネームプレートによる視覚化



河原先生ほんとうにお疲れ様でした。
これからも生徒の考えが深まる道徳を見せてください。